

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月10日更新

事務事業名	参議院議員通常選挙事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	選挙管理委員会	課長名	坂本浩一郎
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進	所属課	選挙管理委員会事務局	担当者名	西村直高、谷口大介
体系	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保	所属班	選挙管理委員会事務局	(内線)	1 2 2 3
予算科目	会計一般	款 2	項 4	目 9	事業連番 10346	根拠法令 公職選挙法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始			事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	参議院議員通常選挙の管理執行。参議院議員の任期は6年で、3年ごとに定数の半数124人を改選する(日本国憲法第46条)。定数は248人で、うち100人が比例代表選出議員、148人が選挙区選出議員である。参議院熊本県選出議員通常選挙では定数1名、参議院比例代表選出議員通常選挙では全国区で50の議員が選出される。 当日投票に行けない選挙人のために、期日前投票所を17日間開設する。その他の投票制度に、滞り市町村での不在者投票、一定の障がいを持つ方のための郵便等による不在者投票、指定施設による不在者投票などを受け付ける。 期日前投票所は合志市役所、西合志図書館の2箇所、期日前投票の時間は午前8時30分から午後8時まで実施する。 当日投票所は市内20箇所。投票時間は午前7時から午後7時まで実施する(1時間の繰り上げ)。ただし、第2投票区(日向集会所)と第5投票区(恵風園恵楓会館)は、2時間繰り上げて午後6時まで実施する。 開票は当日の午後8時30分から合志市総合体育館(ウィーブルメインアリーナ)で即日開票を行った。
【業務の流れ】	①選挙管理委員会の開催、②投票所、開票所の指定、③ポスター掲示場設置、④資材、消耗品等の準備、⑤選挙人名簿の調製、⑥投票入場券作成と発送、⑦投票管理者・同職務代理人・投票立会人の選任、⑧投票・開票事務従事者の選任、⑨期日前投票事務従事者説明会、⑩啓発活動、⑪選挙違反に対する注意・指導、⑫期日前投票所の設営、⑬不在者投票、郵便による不在者投票の受付開始、⑭選挙公報の配達、⑮当日投票事務、開票事務従事者説明会の開催、⑯投票所、開票所の設営、⑰交付機・計数機等の点検、⑱当日投票事務、⑲当日開票事務、⑳県選管へ結果報告、㉑選挙録・開票録の検収、㉒選挙委託費の実績報告・委託費の請求
【主な予算費目】	・報酬、職員手当等、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO) 令和4年7月10日 参議院議員通常選挙の管理執行を行った。 当日有権者数49,701人、投票率:選挙区・比例代表51.40%	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 選挙執行予定無し。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 候補者数(熊本選挙区)	人 選挙執行予定無し(次回執行予定令和7年度)による事業費の減
イ: 候補者数(比例代表、政党及び個人)	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 参議院議員通常選挙	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
	→ ア: 当日有権者数 人
	イ: 投票者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 選挙が適正に執行される。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
	→ ア: 選挙の管理執行において問題となった件数 件
	イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 法にのっとって選挙を適正に執行することが必要なため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込	
① 活動指標	ア 人		0	0	4	4	0	0	4	0	
	イ 人		0	0	160	193	0	0	160	0	
② 対象指標	ア 人		0	0	50,000	49,701	0	0	51,200	0	
	イ 人		0	0	30,000	25,544	0	0	30,720	0	
③ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ 件										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円			25,095	20,916		23,527		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円			805	1,550			1,200	
		(A) 事業費計	千円	0	0	25,900	22,466	0	0	24,727	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	0	11,952	9,196	0	0	6,215	0
人件費	正規職員従事人数	人	0	0	120	70	0	0	195	0	
	延べ業務時間	時間	0	0	3,000	2,416.25	0	0	1,560	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	37,852	31,662	0	0	30,942	0		

事務事業名	参議院議員通常選挙事業	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会事務局
-------	-------------	-----	---------	-----	------------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 管理執行上において問題はなかった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

合志市の投票率は51.40%となり、前回(令和元年7月)と比較すると、投票率は47.66%から、3.74ポイント上回った。熊本県全体の選挙区の投票率49.12%を上回ることが出来た。
また、適正な管理執行をおこなったことで、管理執行上問題となる事項は発生しなかった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>投票システムを導入や選挙機器の導入により、事務の効率化を図ってきたが、年々有権者数が増加しており、事務従事者数の削減は難しい。事務執行におけるバランスを考慮しながら若年事務従事者を増やすことで経費増加を防ぐ。</p>																						